

# み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



◆平成27年度当初予算  
総額1,823億円を可決 P2

◆常任委員会  
こんなことが話し合われました P10

◆一般質問  
市政のここが聞きたい P14

3 月  
定例会





# 子育てしやすいまちへ

## 総額1,823億円

平成27年度の予算の使い道を「白熱議論」

### 主な新規事業

【蔵王ジャンプ台のサマーヒル化】 6億8,320万円  
年間を通して利用できるように改修工事を行います。



【(仮称) 西消防署設置に向けた整備】 2億3,781万円  
はしご車を購入して西崎出張所に配置するとともに、訓練塔の実施設計を行います。

【母子保健の相談体制を拡充】 588万円

保健センターに母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期の総合的な相談に応じます。



【中核市への移行に向けた準備】 170万円

市民サービスの向上と県都としての活力あるまちづくりに向け、中核市移行へ具体的な検討を進めます。



# 安全・安心なまち

**自主防災組織育成事業**  
1348万円

自主防災組織への資機材  
購入費補助などを行います。

**委員** 自主防災組織の訓練を見たが、参加者はだいぶ戸惑いを感じていた。組織を立ち上げるのはよいことだが、今後は、自主防災組織のレベルアップに取り組むための予算も必要ではないか。

**防災対策課長** 組織を立ち上げて間もない地区では、まずは訓練を行ってもらうように進めているが、戸惑いを感じてもらえたことは、今後改善すべき点ということで意義があったと考えている。自主防災組織育成事業では、**地区の防災資機材購入や研修会を行う際の講師謝礼などに活用できる**よう考えている。

**消防費**

26億2148万円

市民生活の安全安心を担う消防体制を充実・強化します。

**委員** 災害対応も複雑になっ

てきている。的確な対応には、消防職員の人材育成が欠かせないが、意識した取り組みを行っているのか。

**消防署長** これまで培ってきた多くの現場経験や知識、技術を若い職員に伝えていくことが重要だと認識している。そのために、日々の訓練における指導や消防大学校を卒業した職員による、**最新の知識や技術を伝達する研修会を実施**するなど、さらなる人材の育成と消防力の強化を図っていく。

**委員** 市民防災センターが設置されてから2年経つが、利用状況はどうか。

**予防課長** 平成24年10月の開所から27年2月までの来館者総数は3万2021人で、個人の来館者は9097人、団体の来館者は931団体で2万2924人となっている。特に多いのは事業所や学校、自主防災会などである。**平成26年度の来館者数は2月末で9895人**となっており、最近は、市外や県外の来館者が増えている。

**委員** 山形駅前の雑居ビルは老朽化が進んでいる。ビル管理者が地元にとんどの

ない状況で、防火に対する指導体制などに支障はないのか。

**予防課長** 平成14年の法改正から防災体制の整備に取り組んできたが、消防用設備設置義務などの違反が改善されていないビルがあるため、26年10月に違反是正検討委員会を設立した。早急に改善を図るよう、**立ち入り検査を重点目標に掲げて取り組んでいく**。

**企業誘致・立地事業**  
13億3612万円

新産業団地の整備を進めるとともに立地した企業に対する助成や制度融資を行い、誘致活動を強化します。

**委員** 山形中央インター産業団地における誘致状況と、その他の産業団地の空き状況はどうか。

**商工課長** 山形中央インター産業団地に関する問い合わせは相当数ある。すでに市外企業2社、市内の事業拡張を希望する企業2社の計4社から申し込みを受けており、これから庁内における審査会を経て、確定作業に入る予定である。また、蔵王産業団地は平成26年度当初は3区画の空きがあったが、2区画の立地が確定しており、**残りは1ヘクタールの1区画のみ**となっている。



▲残り1区画となった蔵王産業団地



**新野球場整備事業**  
10億3548万円

平成29年度の完成を目指し、新たな野球場の建設に着手します。



▲平成29年度完成を目指す新野球場

**委員** 新野球場の概算事業費の64億円は妥当な金額なのか。他市での事例はどうか。

**スポーツ保健課長** 最近の施設では、平成21年完成の新潟県立野球場は89億円、19年完成の仙台市民球場が44億6400万円、16年完成の秋田のこまちスタジアムで56億円となっている。

**委員** 富山高岡市での野球場の建設費は、780台の駐車場と屋内練習場、多目的広場なども含めて49億円、香川県丸亀市が37億円、長野県は2万5000人規模の全面改修で72億円程度と聞いている。

資材や人件費などの高騰分はどれくらいの割合なのか。建設工事費として積算基準はどうなっているのか。

**スポーツ保健課長** 基本構想と基本設計を経て積算した実設計であり、今の時勢にあった積算になっている。

**山形国際ムービーフェスティバル開催補助**  
700万円

山形国際ムービーフェスティバル開催関連事業として、市民向けの事業開催と\*スカラシップ作品への支援に対して補助を行います。

**委員** 公金から支出することを考慮して、実績報告に領収書を添付させて内容を確認すべきではないか。

**企画調整部長** 補助金額を確定するために実

績報告書の提出を求めているが、実績報告書の在り方は、補助金の内容によってさまざまな形がとられている。この補助金は、全体経費の中の一部の事業のみを補助対象としており、同じ経費の中から、何に使ったのか確認する必要がある。そのため、ヒアリングをしながら確認するのが効果的であり、領収書の添付は求めてなく、現場に向いて確認している。

**委員** 補助金は事業に対する公共性を認めて支出するものだが、公共性の判断は以前と変わらないのか。

**企画調整部長** 映画祭本体ではなく、映画製作体験、スカラシップをとった監督作品の上映などを通して、山形から映画づくりの情報を発信していくことや、映画づくりをキーワードとした山形の活性化によって、山形の都市ブランドを高めていくといった公共性を狙って補助をしている。

**委員** 山形国際ムービーフェスティバルは、行政の補助を受けずに実施できると思う。主催者が自ら行うことで評価を受けるものであり、補助金を減額してもよかったのでは



▲おいしい給食は栄養もたっぷり

ないか。

**文化振興課長** 山形国際ムービーフェスティバルは、10年間映画の募集を続けてきた中で大変よい作品が展覧されるようになっており、着実に評価されている。今年も700万円を上限としたい。

**学校給食費公会計化事業**  
10億2508万円

保護者から徴収した給食費を市の歳入とすることで、学校給食に対する市の責務を明確にします。

**委員** 給食費を払わない場合には、直接市から請求や督促

ができるようになるのか。

**学校給食センター所長** 年度内は、残高不足で引き落としできないものも含め各学校で請求してもらうが、前の年度分は市が文書などで催告し、納付を求めていく。

**ふるさと納税推進事業**  
901万円

ふるさと納税のPRを強化するとともに、進呈品を充実します。

**委員** 寄附のうち、どの程度が市の歳入となるのか。

**山形まるごと推進課長** 平成26年度は1万円の寄附で20

\* スカラシップ作品…山形国際ムービーフェスティバルでは、ノミネート作品より選ばれた上位受賞の監督の、東北を題材とした長編作品の製作にあたって資金面でバックアップしており、その制度を活用して完成した作品。



▲山形らしい特産品で、ふるさと納税をPR（イメージ）

00円相当の進呈品やお礼の品を贈っており、送料などの経費を差し引くと5割程度が市の歳入となる。27年度もほぼ同程度と見込んでいます。

**委員** ふるさと納税の進呈品は、贈って喜ばれる物を選ぶべきだと思うがどうか。

**山形まるごと推進課長** 27年度は寄附額に応じて4段階に分け、1万～3万円未満の寄附には2000円相当、3万～5万円未満までは6000円相当、5万～10万円未満は1万円相当、10万円以上には2万2000円相当の進呈品を贈る予定であり、現在、山形らしい特産品などを選定している。

**委員** 寄附に対して2割程度の品物を進呈しているが、4割にすることで、市の歳入は減るものの、農産品などの地域産業に倍の経済効果が生まれるのではないか。商業や産業の振興のためにも、進呈品の額を引き上げるべきだと思うがどうか。

**山形まるごと推進課長** 27年度からの税制改正に当たり、寄附額に対して返礼割合の高い品物の送付を自粛するよう国からの通知があるため、今後検討していきたい。

**防犯・暴力追放推進事業**  
558万円

防犯体制の強化や暴力のない社会をつくるための経費です。

**委員** まちの安全ふるさと応援基金を活用した青色パトロールへの補助内容はどうか。

**市民課長** 年間を通して活動した場合の燃料費約1万円の半程度程度の補助とした。7台までは1台当たり年額6000円、8台から14台までは4000円、15台から21台までは2000円を考えている。

**成人保健事業**  
2億2146万円

健康診査やがん検診などにかかる経費です。

**委員** 職場での健診時に、市が実施するがん検診を受けることはできないのか。

**健康課長** 市医師会に検討を依頼しているが、システムの問題や他の市町村に居住している人もおり、事務が煩雑化するため同時に実施することは難しい。

**委員** がん検診の自己負担割合を3割に変更したことで、市民の負担は増えるのか。

**健康課長** これまでは加入保険ごとの負担割合に差があったため、医療費の負担割合を考慮し一律に3割とした。検診の種類によって、500円ほどの増額や300円ほどの減額になる。

**交通安全対策費**  
2537万円

交通安全対策にかかる経費です。

**委員** 交通安全指導員の高齢化と成り手不足が問題だが、現在の状況はどうか。

**市民課長** 現在66人だが、4月1日から1人増となる。不在箇所は3カ所である。

**委員** 交通安全啓発モデル活動事業の補助金は、どのような活動に補助するのか。

**市民課長** 第5地区で取り組まれている大学と地元、警察が一緒に実施している交通マナーアップのための直接指導やステッカー配布などの啓発活動への補助を考えている。

はながたベニちゃんの  
**教えて!!** 議会あれこれ



**Q** 傍聴ってどうすればいいベニ?

**A** 定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催しているよ。  
本会議や委員会（常任委員会、予算・決算委員会など）は公開されていて、受付で氏名と住所を記入するだけで簡単に傍聴できるよ。

**保育所施設整備事業**  
1億52万円

保育需要の増加による保育所整備のための用地購入にかかる経費です。

**委員** 民間立保育所施設整備事業に係る用地購入費の内容はどのようなものか。

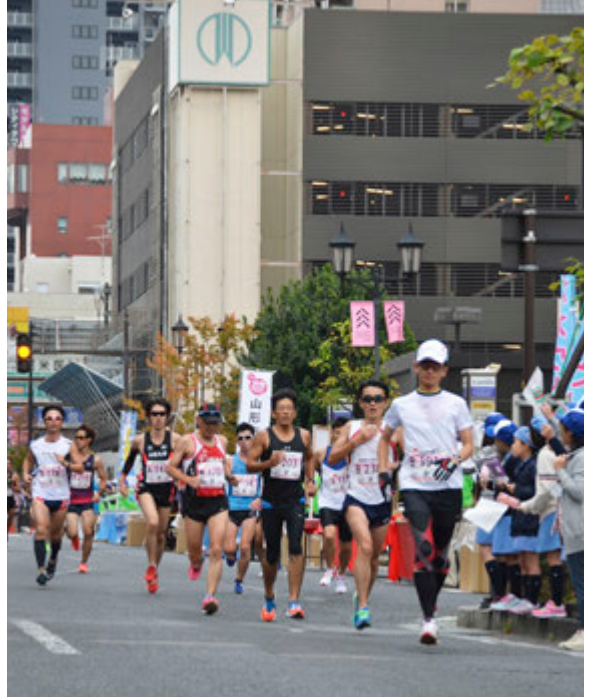
**こども保育課長** 蔵王みはらしの丘にある土地開発公社所有の保育園用地を買い戻し、その用地を売却して、民間の力により認可保育所を建設してもらおうことを考えている。



シティマラソン開催事業  
3300万円

平成27年度で3回目となる山形まるごとマラソンの参加者定員を4000人から5000人に拡大し開催します。

**委員** 山形まるごとマラソンの定員を5000人規模に増やすことだが、交通規制の時間を変える必要はないのか。また、規模はどれくらいまで拡大することが可能なのか。今後、フルマラソンを開催する考えはあるのか。  
**スポーツ保健課長** ハーフマ



▲全国的にも評価の高い「山形まるごとマラソン」

ランソ部門の定員を27年度から4000人に増やすが、シミュレーションの結果、**交通規制の時間を変えずに開催**できると考えている。また、警察との協議を行いながら、現在の規制時間の中で、**参加定員を徐々に増やしていきたい**と考えている。フルマラソンに関しては、市内の魅力をまろごと味わってもらおうという趣旨を尊重し、現在のコースを2周するのか、郊外まで広げるかなどの問題もあり、**検討が必要**である。

上野最終処分場運営管理  
1億6088万円

上野最終処分場の運営管理と長期的な運用のための雨水排水対策などにかかる経費です。

**委員** 上野最終処分場の現在の状況や今後の見通しはどうなっているのか。  
**廃棄物施設課長** 減容<sup>※1</sup>プラスチックの外部処理などで搬入を抑制している。平成23年度にボーリング調査などを実施し検討した結果、新たに建設するエネルギー回収施設での焼却灰の溶融<sup>※2</sup>スラグ化や雨水浸透抑制などを行うことにより、現在の整備エリア内で、**平成40年頃まで埋め立てが可能**であると推計している。

空き家対策事業  
537万円

空き家対策計画を定め、空き家の調査と適正管理の指導を行うとともに、周辺住民の安全のため老朽危険空き家の除却に補助します。

**委員** 市で認定した老朽危険



▲平成40年頃まで埋め立て可能な上野最終処分場

空き家も含め、市内にどれくらい空き家があると見込んでいるのか。  
**管理住宅課長** 平成27年1月末で124件を老朽危険空き家と判断している。また、国の調査結果から、賃貸や売却用の住宅などを除き、市内では**4410戸**が空き家と推計されている。

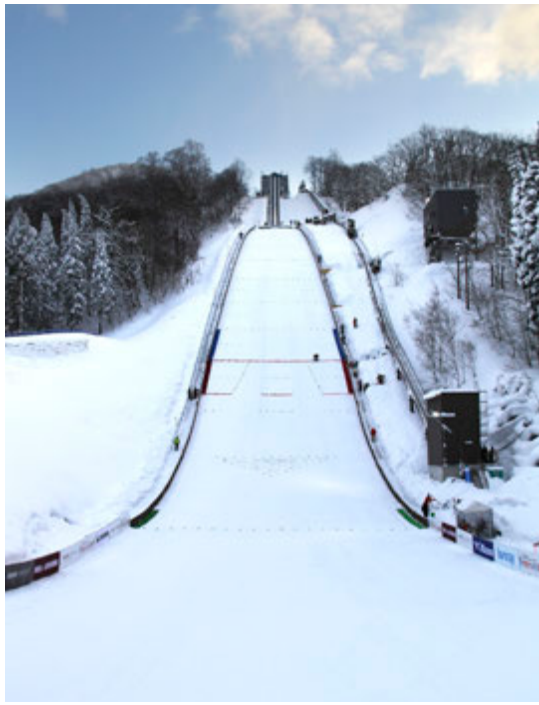
**委員** 老朽危険空き家の除却補助金の実績はどうか。  
**管理住宅課長** 26年度に6件の申し込みがあったが、補助対象と認定したのは**1件**である。

**委員** 空き家対策特別措置法で求められている、空き家対策計画の策定に向けた今後のスケジュールはどうなっているのか。  
**管理住宅課長** 5月末に示される国のガイドラインなどを参考にしながら、**早急に取り組んでいく**。

**委員** 空き家対策計画の策定や、事業に対して意見を聞く空き家等対策協議会の構成と人数は、どのように想定しているのか。  
**管理住宅課長** 協議会の構成は、市長、地域住民、市議会議員、法務・不動産・建築・福祉・文化に関する学識経験者など**10人程度**になると考えている。

**委員** 空き家対策特別措置法

※1 減容プラスチック…最終処分をするために破砕・圧縮などを行い、容積が少なくなったプラスチック。  
※2 溶融スラグ化…廃棄物や下水汚泥の焼却灰などを1300℃以上の高温で溶融したものを冷却し、固化させたもの。



▲国内で唯一国際基準を満たしている蔵王ジャンプ台

**蔵王ジャンプ台サマーヒル化**  
6億8320万円

年間を通して利用できる競技施設に改修し、有効活用と合わせて観光資源としての活用を目指します。

**委員** 地区の方々から照明灯設置の要望がある。大会も天候により日没後にずれ込むこともあるため、検討してはどうか。

**スポーツ保健課長** 現在、国際スキー連盟や全日本スキー連盟から話があり、サマーヒル化後の検討課題とされている。仮設での設置が可能かも併せて検討していく。

**ごみ減量等推進事業**  
6928万円

ごみ減量に向けたリサイクルの取り組みや資源物回収などを推進します。

**委員** 小型家電リサイクル事業の回収実績で、集団資源回収が伸び悩んでいると聞いているが、この状況をどのように考えているのか。

**ごみ減量推進課長** 平成27年1月末時点で、BOX回収とイベント回収は順調に推移しているが、集団資源回収の回収量が伸びていない。例年実施している町内会やPTAなどの実施団体に対する説明会

を早めに実施し、回収品の実物を用いた詳細な説明を行うことで、実施団体が小型家電の回収に積極的に取り組むことができよう働き掛けていく。

**委員** 雑がみ回収袋に広告を掲載することで、経費を削減できないのか。

**ごみ減量推進課長** 雑がみ回収袋はスパーなどに配置しているため難しいが、今後検討していく。

**老人ホーム入所措置費**  
1億756万円

老人ホームへの入所などにかかる経費です。

**委員** 盲養護老人ホームに入所できる要件は何か。

**長寿支援課長** 視覚障がい1級・2級の身体障がい者手帳所持者またはそれに準ずる方で、生活環境や経済的理由により居宅での生活が難しいと認められる方が対象となる。

**委員** 需要は増える見込みか。  
**長寿支援課長** 今後増えると考えられるが、すぐに次の施設が必要という状況ではない。

**定住自立圏構想推進**  
25万円

山形市を中心市とする上山市・天童市・山辺町・中山町との定住自立圏形成協定に基づき、連携事業を実施します。

**委員** 本市の都市機能を提供するのはよいことだが、もつと他市町の資源を活用できるようにすべきである。市民が活用する姿勢があってもよいのではないか。

**企画調整部長** 定住自立圏構想は、本市のサービスを圏域の他市町から利用してもらい、圏域全体が元気になることにより、本市も元気になっていくという思いがある。将来的に中核市に移行した場合も、中核市を中心とした構想があるので、圏域全体がどうやって発展していくのかが重要となる。平成27年度に定住自立圏のビジョンの見直し作業を行うが、今行っている連携のほかにもさまざまな連携活動があると考えられるため、市・町の間で、情報を共有しながら進めていく。

**中山町**  
第25回 全国かぶと虫相撲大会  
と き 7月20日(月・祝)  
と ころ 中山町総合体育館  
内 容 相撲大会、木登りレース、スタンプラリー、ミニSL乗車会が行われます。  
※申込み受付：6月初旬に町公式ホームページ掲載。  
問い合わせ先 日本かぶと虫相撲協会 ☎662-5777  
(ひまわり温泉「ゆ・ら・ら」内)

**山辺町**  
ラベンダー園「かほりの広場」オープン  
と き 6月下旬～7月中旬  
と ころ 玉虫沼農村公園「かほりの広場」  
内 容 紫色のかわいらしい花が咲き誇り、皆様のお越しをお待ちしています。また、大好評の「ラベンダーソフトクリーム」の販売も行います。  
問い合わせ先 山辺町産業課農村整備係 ☎667-1106

**上市市**  
やまがたワインバル2015inかみのやま温泉  
と き 7月5日(日)  
と ころ 上山城周辺  
内 容 県内ワイナリーが一堂に会する大イベント。心地よい香りと豊かな味わいが自慢の「かみのやま産のワイン」をお楽しみいただけます。  
問い合わせ先 上市市観光物産協会 ☎672-0839

みみより情報



地域活性化、消費喚起を図る  
補正予算を審査

119番通報損害賠償請求  
事件解決 1500万円

119番通報に関する損害賠償請求事件を和解するための解決金です。

**委員** 市民からは、市に非があったから1500万円の解決金を支払うと理解されるのではないかと思うが、解決金とはどのような意味合いなのか。

**消防本部総務課長** 裁判所から示された和解勧告を、原告・被告が真摯に受けとめ協議をした結果、合意し支払うものである。

**委員** 弁護士報酬は、どのように算定されるのか。

**消防本部総務課長** 着手金はすでに支払いしているが、最終的な報酬は依頼主と弁護士との間で決めることになる。

プレミアム商品券事業補助  
2億750万円

20%分の割り増しが付いたやまがたプレミアム商品券発行事業を支援します。

**委員** なぜ今回はこれほど割増率が高いのか。

**商工課長** 全国の市町村でもプレミアム商品券が発行されることから、**周辺市町村との均衡**を図り設定した。

**委員** 市民に対する発行の周知をどのように行うのか。また、どのように販売するのか。

**商工課長** ホームページへの掲載や市報への折り込み、新聞の記事に取り上げてもらうなど周知漏れの無いように対応したい。販売方法は、市内中心部だけではなく、蔵王温泉観光協会や山寺観光協会なども含め、**市内全域に販売窓口を設置**する予定である。

**委員** 販売数に上限を設けるのか。

**商工課長** 平成27年6月～9月までおよび11月～1月までの2回に分けて発行し、**1人5セットまで**と制限をつける予定である。



▲山家田植踊の様子（市指定無形民俗文化財）

市無形民俗文化財調査事業  
78万円

市内に伝承されている民俗芸能などの調査を行い、今後の文化財保護施策の資料として活用します。

**委員** 調査はどこに委託するのか。また、今後の予定はどうなっているか。

**社会教育青少年課長 村山民俗学会に委託**し、平成27年度は28件、28年度は41件、29年度も41件の調査を予定している。3カ年の調査終了後、写真や資料などに基づいた報告書を作成する予定である。

障がい児通所給付  
1400万円

児童発達支援として3歳児健診時に臨床心理士を継続して配置するほか、放課後デイサービス利用者の増加により予算を増額します。

**委員** 障がい児通所施設の需要と供給の状況はどうか。

**障がい福祉課長** 児童発達支援施設は26年度に2カ所増えて**14カ所**となり、放課後デイサービス事業所は、8カ所増えて**19カ所**となっており、利用者も増えている。

3月の主な補正予算  
一般会計 13億9,361万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 本沢コミュニティセンター建設事業費 ..... 3億254万円
- 道路の除排雪に要する経費 ... 2億6,900万円
- やまがたプレミアム商品券事業費 ..... 2億750万円
- まるごとプレミアムツアー事業費 ..... 8,536万円
- 高齢者外出支援事業費 ..... 8,290万円
- 市営あずま町住宅外壁等改修工事費 ..... 6,700万円
- 多子世帯応援事業費 ..... 3,000万円
- 119番通報に関する損害賠償請求事件解決に要する経費(解決金) ..... 1,500万円





▲甲冑を着て戦国武将に变身しよう！

最上義光歴史館体験型文化振興事業 367万円

歴史講座や甲冑着用体験事業を実施します。

**委員** 親子で甲冑を着る体験などを行うとのことだが、1年だけの事業なのか。  
**文化振興課長補佐** 甲冑を6領購入し、これまでの親子歴史講座に加えて、甲冑を着る体験講座を実施する。また、購入する甲冑を最上義光武将隊でも活用し、さまざまなイベントを盛り上げていく。なお、平成28年度以降も実施していく予定である。

米価下落対策付支援事業補助 2473万円

平成27年度産米の種子購入代金の一部を支援します。

**委員** 他市町村の取り組み状況はどうか。  
**委員** 市と県の補助を重複して受けることは可能なのか。  
**農政課長** 可能である。

ふるさと名物販売促進業務 3114万円

市の特産品をインターネット通販サイトで30%割引した価格により販売します。

やまがたde愛支援事業補助 100万円

非営利組織が行う婚活事業へ補助します。

**委員** やまがたde愛支援事業は、子育て支援と比較し予算規模も少なく感じるが、どのように考えているのか。  
**企画調整部長** 事業規模は実際の活動内容も確認しながら検討したいが、当初予算でもこの事業に関する基金を積んでいるため、当面は活動を継続して成果を見ていく。

道の駅整備検討調査事業 300万円

道の駅の必要性や整備内容などの基礎調査を行います。

花笠まつり用スゲ栽培実証圃設置事業 29万円

花笠の原材料であるスゲの栽培技術の確立を目指します。

**委員** 道の駅の設置場所は、東北中央自動車道周辺ありきと感ずるがどのように考えているのか。  
**企画調整課長** 適地を含め整備内容を検討するものであり、具体的な設置場所は決まっていない。

豪雪に伴う除排雪経費 2億6900万円

豪雪による道路の除排雪経費を追加します。

**委員** 積雪状況の観測地点を増やした成果はどうか。  
**道路維持課長** 市内10カ所の観測地点の積雪情報を基に、効率的な除雪作業ができています。  
**委員** 除排雪を工夫して実施していることを市民に伝えるべきではないか。  
**道路維持課長** 情報発信などを検討し、市民の理解を深めていきたい。



▲山形市産のスゲで花笠づくりを

総務 厚生

産業文教 環境建設

## 4つの委員会で

# こんなことが話し合われました!!



▲救急救命体制の充実で市民をサポート

**委員** これまでの過程では市側から解決に向けた積極的な姿勢が見られず、裁判が長引いたことで市民の不安が増したと思うが、どのように考えているのか。

**消防本部総務課長** 市の考えを主張して、裁判所の公平な判断を仰ぐ考えであった。その中で、裁判所から事件の円満な解決を図るためとして和解勧告があったことを受け、早期解決のために勧告を尊重して原告と協議した結果、合意に至ったものである。市民

119番損害賠償請求事件  
和解へ



消  
防

をはじめ、社会的にも大きな反響があり、少なからず不安を感じられた方がいたことは認識している。そのような市民の不安を早急に払拭すべきとのことから、和解に応じることとした。

**委員** 今後、どのように救急業務の改善に努めていくのか。

**通信指令課長** 平成26年2月に高機能消防指令センターを整備したが、ハード面だけでなくソフト面を充実させるために研修プログラムを整備した。今回の事案では、新任の通信員に対する事前研修や各種症例検討会での事例研修を考えている。

**委員** 119番通報を受けたら全て出動すべきではないか。また、救急救命体制をどのように変えていくのか、的確な説明がされていないと思うがどうか。

**消防長** 119番通報で出動要請があった場合は出動する。救急救命体制の充実は、これまで救急隊の増隊や、救急救命課の新設、24時間健康・医療相談サービスの開始などに取り組んできた。今後は、教育・指導、研修のさらなる充実を図っていく。



▲診療科目の新設で充実した医療サービスを提供

国保税の引き下げで  
市民の負担を軽減

くらし

**委員** 現在の国民健康保険税の負担額は東北の県庁所在地で最も高いとのことだが、税率と税額を引き下げた後ほどのようになるのか。

**国民健康保険課長** 平成26年8月の調査結果で1人当たりの調定額は10万2984円で一番高かったが、改正後は9万8718円となり、仙台市に次いで高い方から2番目となる。

診療科の新設で  
済生館の医療を充実

病院

**委員** 4つの診療科目（病理診断科・救急科・リハビリテーション科・消化器外科）を新設することだが、他の病院には設置されているのか。

**済生館管理課長** 今回新設する4つの診療科目全てを一つの病院で設置している病院は県内にはない。





▲元気な子どもを山形市で育てよう！

子ども

保育料の改定  
市民への丁寧な説明を

**委員** 条例に具体的な保育料の額を明記すべきだと思いがどうか。  
**子ども保育課長** 国が示した考えや他自治体の状況も参考にしながら、条例には上限を定め、具体的な利用者負担の額は規則で定めることとした。  
**委員** 保育料を改定する場合は、その都度議会に報告があるのか。  
**子ども保育課長** 今回改定した金額を変更する場合には、改めて説明することになる。

福祉

高齢者福祉サービス  
定員増で利用を拡大

**委員** 小規模多機能型居宅介護施設などの登録定員を増やすが、施設では十分な対応ができるのか。  
**長寿支援課長** 「通い」の利用定員が3人増えることに介護職員を1人増員する必要がある。施設の定員を増やす場合には職員を1人増員して対応することになる。

**委員** 定員が増えることについて、地区の社会福祉協議会や福祉協力員にどのように説明するのか。  
**長寿支援課長** 高齢者の保健福祉のしおりや広報やまがたに掲載して周知していく。  
**委員** 介護認定審査会の委員を100人まで増員することのことだが、いつまでにするのか。  
**介護保険課長** 平成28年度から24人増員し84人とするが、100人体制となるのは32年度ごろと考えている。

まちづくり

市道への認定は  
現行の基準を継続

**委員** 市道認定の要望も多いが、現在の認定基準を継続していくのか。  
**道路維持課長** 今後も、現在の認定基準により市道路線の認定を行っていく。

市道の占用料金  
約7割の項目で値下げ

**委員** 道路<sup>\*</sup>占用料金はどのように変わるのか。  
**道路維持課長** 占用料の区分59項目中41項目で料金の改定を行い、値下げとなる。

**委員** 道路占用料金の改定で1700万円の減収となるが、所在地区分の変更や料金の値下げ額を十分に検討したのか。  
**道路維持課長** 道路法施行令の改正に基づき見直しをしているため、独自に区分を変えることはできない。占用料の額は、県内すべての市町村で県に合わせて改定している。

教育

山形五中改築  
特別教室を市民に開放

**委員** 山形五中の校舎の改築により、特別教室の一部を新たに開放することだが、どのような利用を想定しているのか。  
**教委管理課長** 地域の団体の会議やサークルの練習などへの開放を考えている。



▲地域の方の利用が期待される山形五中

**教委管理課長** 学校運営上支障がない時の貸し出しを想定している。貸し出す部分は、シャッターで区切ることができ、校舎と切り離して管理ができるようになっていく。警備に関しても、開放する部分は切り離して管理できるよう契約している。  
**委員** 今後、改築することになる学校は、地域の方と相談しながら特別教室の開放を検討していくのか。  
**教委管理課長** 基本構想策定の段階から、地域に対する開放という点も盛り込んでおり、今後の学校建設の際にも、設計に入れながら地域での利用を進めていく。

※ 道路占用…事業者や個人などが道路管理者の許可を得て、道路に電柱・電線や地下埋設管等の物件を設置し、継続して道路を使用すること。

## 請願・陳情

3月定例会で審議された請願は、請願者から撤回の申し出があった1件を除き、新たに提出された1件と継続中の2件です。陳情は、新たに提出された1件を審査しました。各委員会での審査結果は以下の通りです。  
(※印は意見陳述が行われたものです。)

請願	件名 提出者	紹介議員	所管委員会	審査結果
第12号(H26) 継続	消費税増税の撤回を求めることについて	阿曾 隆	総務	不採択
	消費税廃止山形地区各界連絡会 代表 佐藤 弘			
第16号(H26) 継続	農協改革に関する件について	阿部喜之助 今野 誠一 斉藤 栄治	産業文教	不採択
	山形農業協同組合 代表理事組合長 板垣平治郎			
第1号 新規	保育料の値上げを見直すことを求めることについて	中野 信吾 遠藤 和典 諏訪 洋子 川口 充律 阿曾 隆 阿曾 朋博 江田 新世 武田	厚生	撤回
	山形市保育園保護者会連絡協議会 会長 田中 智			
第2号 新規※	農協改革をはじめとした「農業改革」について	斉藤 栄治 今野 誠一	産業文教	不採択
山形県農業協同組合労働組合 中央執行委員長 栗田俊明				
第1号 新規※	商店版住宅リフォーム助成制度の創設に関する事について	山形民主商工会 会長 佐藤 弘	産業文教	不採択
山形民主商工会 会長 佐藤 弘				

●議決の結果は、13ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

## 意見書(要旨)

3月定例会会で可決された意見書は1件です。関係機関に送付しました。

## 一括交付金制度の復活を 求める意見書

平成23年度予算で、原則と

して自治体の裁量によって使途を決めることができる一括交付金制度が創設され、24年度予算では、金額、対象自治体、事業メニューが拡大されるなど制度の改善が行われま

した。ところが政府は、25年度予算で一括交付金制度を廃止し、ひも付きといわれる個別補助金を復活させました。霞が関主導の中央集権政治、省益行

## 教育委員会委員の任命に 同意

教育委員会委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、引き続き須賀氏の任命について全会一致で同意しました。

須賀まり子氏(桜田西)

## 人事案件

よって、政府に対して、自由度が高く利用しやすい一括交付金制度を復活させ、地方の自主性を重んじた地域創生を進めるよう強く求めます。

## 固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、引き続き半田氏の選任について全会一致で同意しました。

半田 稔氏(松見町)

## 人権擁護委員の候補者の 推薦に同意

人権擁護委員のうち、4人の任期が6月30日で満了することに伴い次の方の推薦について全会一致で同意しました。

安部 信雄氏(江南)  
勝見 祐子氏(銅町)  
齋藤 眞志子氏(西崎)  
柳橋 幸男氏(沼の辺町)

## 6月定例会の日程 (予定)

6月11日(木)  
～30日(火)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404



議決議案一覧 (3月定例会)

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決結果. Contains items 2 through 29.

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決結果. Contains items 30 through 45.

※議第2号〜議第4号および議第41号は3月10日に議決。その他の議案および議会議案は3月24日に議決。

Table with 3 columns: 議会議案番号, 件名, 議決結果. Contains items 1 and 2.

議案の賛否一覧表 ◆ 賛成と反対の双方や出席などがなかった場合に表示しています

Large table for voting records with columns for party names and individual council members, and rows for specific bills.

◆○=賛成 ×=反対 ◆加藤賢一議長は採決に加わらない。

# 市政のママが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。3月定例会では、4日と5日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。

質問者

質問の要旨

佐藤亜希子  
〔市民連合山形市議員〕

保育料の負担増の見直し、貧困の連鎖を断つ施策と子育て支援、高齢者の足の確保  
ほか

川口 充律  
〔市民連合山形市議員〕

サッカースタジアムの建設、都市計画マスタープランの見直し、山形市建築物耐震改良促進計画、ごみ集積所設置  
ほか

鈴木善太郎  
〔市民連合山形市議員〕

市長の自己評価と次期市長選、地域成長力強化対策、地域生活基盤の強化対策  
ほか

渡辺 元  
〔緑 政 会〕

観光施策の取り組み、スポーツ施設整備、中心市街地の活性化、6次産業化  
ほか

諏訪 洋子  
〔所属党派なし〕

命を大切にすまちを目指して、資源活用で元気なまちを目指して、女性と若者も元気なまちを目指して  
ほか

尾形 源二  
〔市民連合山形市議員〕

街づくりについて現場で見られる矛盾や問題点、がん征圧都市宣言、住民自治基本条例、冬季オリンピック開催  
ほか

後藤 誠一  
〔市民連合山形市議員〕

市長の政治姿勢、山形市・公有財産の利活用、少子化対策・出生率の回復に向けて

阿部喜之助  
〔緑 政 会〕

市政の今後の見通しと財源確保、平和な社会を目指した支援、限界集落対策、少子化問題



## 保育料値上げ中止を！

佐藤亜希子 議員

◎ 保育料の負担増は少子化につながると思われる。政策的に最も避けるべきであり中止すべきと思うがどうか。

◎ 財政負担が大幅に増えることから、保育料の負担増をお願いしたい。

◎ 秋田県では、すこやか子

◎ 育て支援事業により、保育料の助成をしている。県に働き掛けて保育料軽減となる施策を実施してはどうか。

◎ 同時在園ではない第3子の保育料を無料としている市町村もあり、多様な選択肢を検討しながら県に要望していく。

◎ 貧困の連鎖を断つために

◎ も、母子自立支援員や女性相談員、児童家庭相談員を増やすべきだと思うがどうか。

◎ 相談件数が増えており、負担が過重になっているため、相談員の増員を検討していく。

◎ 国保税の子どもの分の均等割を免除してはどうか。また、加入者の重税を解消するよう国や県に働きかけるべき

◎ だと思いがどうか。

◎ 厚生労働省の国保基盤強化協議会で検討を進めており、検討状況を見ながら判断したい。平成30年度より国保制度の改正が予定されており、財政支援の拡充などを国や県に要望していく。

◎ 本市はこれまで国の基準を上回る委託料で学童保育を





▲交通量が増えている双葉町交差点



▲子育て世帯への負担は軽く

## 大規模小学校の 教育環境改善を図れ

川口 充律 議員

**Q** 文部科学省が策定した公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引に対する本市の対応はどうか。

**A** 手引の示す方向性や留意点などを十分に考慮し、小・中学校の校舎改築の時期に合わせて近隣の学校との統合や小中一貫校を新設するなど前向きに取り組んでいく。

**Q** 南沼原小学校の学区内は、開発行為により住宅分譲や新築住宅が増えており、児童たちの教育環境における制約や不便さは解消されない状態が続くこととなる。できるだけ

支えてきたが、国の基準が改善され、保育人数によっては市の基準を上回る部分も出てきた。上回った部分は、国の基準に合った委託料を支給すべきだと考えるがどうか。

**A** 国に対して支援の増額を要望してきた成果により、基準が引き上げられ、市の基準を上回る見込みであり、見直しを検討している。

**Q** 早期校舎を改築すべきだと思いがどうか。

**A** 平成26年度は31学級で、児童数が最も多かった18年度の35学級と比較すると4学級減っており、今後も引き続き児童数が減少し、34年度には望ましい学校規模である24学級になると見込んでいる。校舎改築の時期は、従来どおり児童数が望ましい学校規模となる時期を一つの目安とし、これまでの経緯や今後の児童数の推移を考慮しながら検討していく。

**Q** サッカースタジアム建設計画の状況はどうか。市長の任期満了も近づいており、市民に対して方向性を示す必要があるのではないかと。

**A** トップチームの運営を担う株式会社モンテディオ山形

**Q** 多子世帯の学童保育料の軽減制度を独自に行っているクラブに対し、補助を行っているかどうか。

**A** 保育所などと同様に、国の制度となるよう国や県に要望していく。

**Q** 運転免許証の返納者に対して、タフシー券を支給してはどうか。

**Q** 都市計画マスタープランは20年後を見据えた基本的な方針を定めるものとしているが、コンパクトシティを目指す計画なのか。

**A** 現在見直しを進めている都市計画マスタープランは、国で示す地方都市の目指すべき将来都市像に基づき、集約型のまちづくりを進めるものである。今ある資源を有効に生かしながら、実情に応じた機能の集約を行い、中心部、地域、集落を公共交通や道路で連携することで、足りない機能を補う都市構造となっている。

**Q** 双葉町交差点や美畑天童

**A** 交通安全対策の一つとして研究したい。

**Q** 要介護者の申請に基づき所得税の障がい者控除認定書を発行しているが、対象者全員に発行してはどうか。

**A** 27年度から65歳以上の方で要介護1から5の該当者に障がい者控除対象者認定書を発行する。

**Q** 防災士は震災後注目されている資格であり、市としても防災士の講座を主催し、女性を含めた防災士の養成に取り組んではどうか。

**A** 県が27年度から防災士の取得講座を実施し、受験や試験費用の補助を行う予定である。講座への参加を各自防災組織へ呼びかける際に、女性の参加も働き掛けたい。

**Q** 原発に頼らない再生可能エネルギー設備の設置を推進していくべきだと思いがどうか。

**A** 発電事業者の事業参入意向の把握に努め、数値目標を定めた再生可能エネルギーの導入計画を新たに策定する。また、住宅用の太陽光発電を中心とした、再生可能エネルギーの活用と導入を引き続き拡大していく。



## 山形市版総合戦略の策定と地域強化を図れ

鈴木善太郎 議員

**Q** 本市の発展は西部地区の市街化調整区域と市街化区域の線引きの見直し以外に望めないと思うがどうか。

**A** 住居系の市街化区域拡大は難しいが、現在見直しを進めている都市計画マスタープランにおいて、周辺農地との調和などに配慮しながら活力あるまちづくりを目指している。



▲修繕が望まれる蔵王山神社一の大鳥居

**Q** 上山山形西天童線は、損失補償などの問題で計画が進んでいないため、西側に新たなバイパス路線を作ってはどうか。

渡辺 一元 議員

## 道の駅を山形上山インターチェンジ周辺に設置せよ！

**Q** 道の駅の設置場所は、交通量が多く、観光の要である蔵王の入口にある山形上山インターチェンジ周辺が最適地

だと考える。特産品や農産物などの直売や情報発信機能を持つことで観光拠点にもなり、蔵王への波及効果も期待できると思うがどうか。

**A** 樺沢山辺中山線の今後の整備の進行状況を見据え、国や県と協議しながら検討していく。

**Q** 城南橋から上山山形西天童線までの多くの交差点では、右折信号機が設置されていない。交通量も増えており、事故発生の危険性が高くなっているため、警察に対し右折信号機の設置を要望すべきだと思うがどうか。

**A** 地元の声も聞き、交通量や道路環境などを考慮しながら山形警察署に要望していく。

**Q** 第十小学校に通う児童の安全確保のため、混雑時の交通状況を調査し、歩道橋設置などの安全対策を県に要望してはどうか。

**A** 朝の登校時に交通指導員

**A** 道の駅を観光拠点として整備することも考慮し、地域が持つ特性や環境、交通量を踏まえた上で、適切な設置場所を検討していく。

**Q** 選手育成やスポーツ振興の観点からも、老朽化が進む総合スポーツセンターの屋外スケート場を早期に移転すべきである。国際大会の開催が

を配置して児童の安全を確保しているが、交通状況を確認した上で、歩道橋設置などの安全対策の必要性を研究していく。

**Q** 上下水道部の土地の一部をグラウンドゴルフ場として開放しているが、愛好者からは冬期間の使用を希望する声も多い。風雪を防ぐ屋根などを掛けて屋内型グラウンドゴルフ場として整備してはどうか。

**A** 災害時の復旧拠点として、応援隊の大型車両の駐車や各種機材の搬入などでの使用を想定していることから、屋根などを掛ける計画はない。

**Q** 蔵王山神社一の大鳥居は、経年劣化により危険な状態となっている。改修に対し、市

可能な屋内スケート場を計画し、蔵王への入口付近に移転することで、蔵王をウィンタースポーツのメッカとして国内外にアピールできると考えるがどうか。

**A** 平成26年12月に、日本スケート連盟や山形県スケート連盟などから県知事に要望書が提出されたと聞いている。本市のスケート施設整備は、

の支援が必要ではないか。

**A** 観光地藏王の入口にあるシンボリックな施設として、県内外より広く認識された重要な観光施設であり、施設の劣化による危険防止のため早急に改修が必要なことから、本市としても支援したい。

**Q** 花小路飲食街の無散水消雪化を行ってはどうか。

**A** 現在、事業を進めている山形駅前地区の進行状況を見ながら、事業化を検討していきたい。

**Q** 家族で過ごすことができるといふ墓地公園を設置してはどうか。

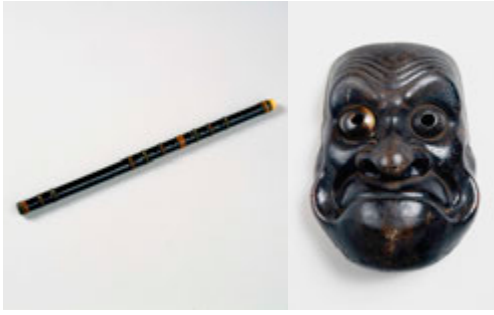
**A** 公園機能のある墓地の設置は、民営の霊園などの需給状況や必要性も踏まえながら判断していく。

今後県の動向を見ながら検討していく。

**Q** 蔵王山噴火の危険性と観光への影響をどのように認識しているのか。また、影響を最小限とするために、どのような情報発信を行っているのか。

**A** 火山活動は減少し、ある程度落ち着いているが、引き



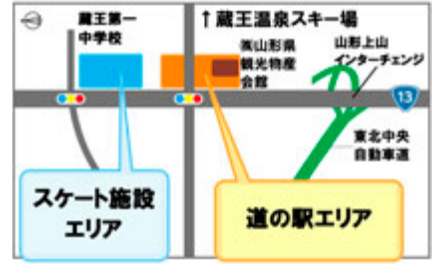


▲義姫が愛用していた優雅な横笛と迫力ある能面



命、信頼を大切に  
まちを目指して

諏訪 洋子 議員



▲蔵王地区への整備で観光を活性化しよう

Q 119番訴訟に対し、市民は誠意ある対応を見守っている。市側が積極的に解決へ動くべきだったと思うが、これまでの対応をどのように考えているのか。

A 現在、和解協議を行っており、引き続き和解による早期解決に努力する。質問の趣旨は、和解の内容について触れることでもあるため、控えたい。

Q 防災活動への女性参画が重要だと思うが、女性防災リーダー養成への考え方はどうか。

Q サッカースタジアム建設を期待する市民の声が高まっているが、今後の建設に向けた動きと現在の市長の考えはどうか。

A トップチームの運営を担う株式会社モンテディオ山形からスタジアム建設の方向性が示されていないため、引き続き動向を注目していく。

Q 県は平成35年までに動物殺処分を半減する目標を掲げている。市内の飼い主がいない動物への対応や担当課の設置などはどうするのか。

A 県で策定を予定しているガイドラインを参考に、県と情報を交換しながら対応を検討していく。動物愛護担当の設置は、中核市への移行過程で判断していく。

Q 「希代の仲裁役」として知られる最上義光公の妹・義姫は、機知に富んだ大変魅力的な存在である。観光事業に

Q 県民会館の有効活用や跡地利用は、県とどのような話し合いをしているのか。また、長期的な有効活用策を県に積極的に提案すべきだと考えるがどうか。

A 県民会館の今後の動向は現時点で県から示されていない。有効活用に向けて引き続き県と意見交換をしていく。

Q 参加型行政の推進と公共データの活用で、新たな事業創出に繋げてはどうか。

A 本市においてもオープンデータ化の推進に取り組んでいく方針である。他自治体の状況なども調査研究しながらガバメント2.0の活用方法を検討していく。

Q 空き家バンクの考え方や空き家の利活用はどうか。

A 平成27年5月下旬に示される国のガイドラインなどを精査の上、関係団体と協議を行いながら、空き家バンクの実施方法や空き家の利活用を

Q 重粒子線がん治療施設は、医療福祉の向上と共に、経済効果も期待できる。治療に訪れる多くの来院者の利便性向上のため、医学部1号線の歩道を拡幅し消雪化してはどうか。

A 無散水消雪道路の整備は、要望の多い中心市街地路線のほか、全体の計画の中で優先度を検討していく。

Q 町内会長やPTA会長などへの女性登用推進と啓発についての考え方はどうか。

A 地域活動の担い手として女性の進出が進むよう、意識啓発や研修の機会の創出などに努めていく。

Q 第3子以降の保育料を無料にしてはどうか。

A 市独自に無料化を行うことは大幅な財政負担が見込まれるため、国や県の動向を見ながら検討していく。

Q 住宅密集地の空き地の固定資産税を減免し、排雪場にする「市民の雪寄せ場」事業を導入してはどうか。

A 先進地を参考に具体的に検討していく。

※ ガバメント2.0…国や自治体などの行政が保有しているデータを個人や企業などの民間が利用することで、住民の力を行政サービスに生かしたり、住民が政策決定に参加したりする取り組み。



### 積極的な姿勢で時代を切り開く 前向きな行政を望む

尾形 源一 議員

**Q** 農振除外された宅地に隣接する小規模な農地などは、市が農振除外できるようにする

**A** 平成21年に農地法などが改正され、農地転用や農振除外の規制が強化されているため、規制の緩和は難しい。

**Q** 都市計画道路事業の進行状況が遅いと感じる。十日町双葉町線を早期に国道112号まで整備すべきだと思つが、整備時期はいつ頃になるのか。

**A** 平成26年度から旅籠町八号まで整備すべきだと思つが、整備時期はいつ頃になるのか。



▲国道13号までの早期接続を

日町線との交差点までと駅前大通りまでのL字型の区間で路線測量を実施している。27年度は予備設計と用地測量を実施するなど、今後も着実に事業を進めていく。

**Q** 馬見ヶ崎橋四日町日月山線から国道13号までの道路整備は、どのように計画されているのか。

**A** 計画幅員が11mで、国道13号に接続する路線として計画されている。11年12月から12年4月にかけて、反対要望や陳情書をいただいた経緯もあり、交通の流れや交通量の推移を見ながら、計画の見直しを含め検討していく。

**Q** 「がん征庄都市宣言」を行い、市を挙げて取り組む姿勢を明らかにすべきである。

児童遊戯施設についてひろばがオープンするなど確実に成果を挙げている。今後の公約は現時点で白紙である。

**Q** 重粒子線がん治療施設設置の経過をどのように認識しているのか。

**A** 山形大学で平成16年に設置に向けた計画が策定され、24年8月からの山形大学重粒

市が行っているがん対策は、現在の施策で十分だと考えているのか。

**A** がん検診の受診率は、今後も向上に努めていく必要があると考えている。27年度は、職域の受診者の拡大を図るため、早朝がん検診の実施や協会健保など職域健診との連携を図り、民間を巻き込んだ取り組みを進めていく。その他の健康づくりにも取り組む必要があるため、宣言を行う考えはない。

**Q** 住民自治（まちづくり）基本条例を制定し、自治会などを条例で位置付けることで、地域自治を成熟させるべきだと考えるがどうか。

**A** 第7次総合計画の取り組み方針において、市民、事業者、行政による共創のまちづ

子線がん治療施設設置推進協議会での意見交換などの取り組みが国から評価されている。具体的な整備着工が認められたものと考えている。

**Q** 重粒子線がん治療施設がもたらす可能性や夢をどのように考えているのか。

**A** 日本が世界に誇る最先端医療であり、がん治療の高度

くりを進めることとしている。今後も、基本構想を踏まえながら地域自治への市民の参画を進めていく。

**Q** 統計調査力を強化し、行政のシンクタンク化を図るべきだと思つがどうか。

**A** 庁内シンクタンクは、企画調整課がその役割を担っているため、新たな組織の設置は考えていない。

**Q** 市職員の人事異動の時期を、現在の4月から1月にしてはどうか。

**A** 人事異動の大きな要素である退職と採用を踏まえ、4月を主とする人事異動が最も合理的だと判断している。市民サービスが低下しないよう、業務の引き継ぎの徹底や窓口の円滑な運営をしていく。

化による地元市民への治療効果の向上、多額の設備投資や維持管理、他県からの患者受診などによる経済面での波及効果、さらに次世代型国際展開モデルとして山形モデルが海外に展開される可能性もあり、イメージアップにも繋がると期待している。

**Q** 行財政改革の一環である



### 市長の積極的かつ主体的 に取り組む姿勢を問う

後藤 誠一 議員

**Q** これまでの市長の選挙公約への評価と今後の公約はどうか。

**A** 子育て支援において民間

立保育所の整備促進などにより待機児童数ゼロを達成したほか、こども医療給付の対象を中学校3年生までに拡大した。また、平成26年12月には

\* 農振除外…農用地区域内の土地を他の用途に利用するため、農用地区域内から除くこと。





▲子どもの笑顔が創りだす明るい未来



阿部喜之助 議員

### 次世代へ続く 持続可能な財政運営を



医用原子力技術研究振興財団のWebから引用

▲さまざまな可能性を持つ重粒子線がん治療施設

- Q** 少子超高齢化社会を迎える中で、高い幸福感を感じる山形市をつくり持続させるために、今後の財政規模をどのように考えているのか。
- A** 財政規模が拡大する中で、財源も限られており、歳入を計りながら歳出予算の調製を行うことが基本である。行政課題を的確に把握した事業の選択が、持続可能な地域社会の形成に重要であると認識している。
- Q** 財源確保に向けた取り組みはどうなっているのか。
- A** 新産業団地の開発などの

- 公有財産の活用や売却の検討は進んでいるのか。
- A** 残土集積所跡地への市有施設の配置や民間への売却、産業団地としての造成、遊休市有地へのメガソーラーの公募などを進めてきた。今後も未利用市有地の売却処分を含めた有効活用をするともに、行政施設の効果的な利活用を進めていく。

- Q** 今年は戦後70周年の大きな節目の年である。平和な社会を今後どのような考え方で推進していくのか。
- A** 本市では、昭和59年に平和都市宣言を議決し、平成元年には日本非核宣言自治体協議会に加盟、21年には平和首長会議に加盟し、世界の恒久平和に向けた運動を行っている。また、恒久平和を願う千年和鐘打鐘式なども毎年開催しており、これらを着実に実施しながら、市民とともに平和の尊さを再認識し、平和の輪を広げていきたい。

- Q** 行財政改革は着実に実行されているのか。
- A** これまで4次にわたって改革の着実な推進を図っており、職員数の減員も行ってきた。平成27年度以降も時代の変化や新たな行政課題に適正に対応できるよう、限られた経営資源を効率的かつ柔軟に活用し、引き続き取り組んでいく。

- Q** 学術的研究を推進するため、山形大学と連携し、研究費を支援する制度を創設してはどうか。
- A** 大学を支援するために、総合的・専門的な見地から学長に助言などを行う顧問会議などへの参画や産学連携事業を実施しており、重粒子線がん治療研究施設への支援も表明した。当面は、現在の連携と支援を継続していく。
- Q** 限界集落対策は生活環境や産業、人口の問題と関わるため、今から対策を検討するべきだと思うがどうか。
- A** 人口増加への対策を取りながら、持続可能な生活圏を形成するために必要な取り組みを進めていく。

- Q** 行政訴訟で指定管理者候補者審査委員会の議事録を提出しないのはなぜか。
- A** 審査委員会は、公開により申請者の利益が害される恐れや自由かつ率直な発言が損なわれないようにするために非公開としている。また、議事録は作成していないが、必要性も含め今後検討していく。

- Q** 次世代を残す基本的な考え方を持つような教育が必要だと考えるがどうか。
- A** 豊かな心・確かな学力・健やかな体を持つ、知性と品性にあふれた子ども達の育成に努めている。それにより、生きることに希望を持ち、社会の役に立ちたいと主体的に考える心を育成することができ、大学生や社会人になった時には、少子化などの社会的課題に取り組む力が育つと考えている。

- Q** 婚活事業へ積極的に取り組んではどうか。
- A** 婚活イベントの開催など、未婚男女の出会いの場を提供するNPO法人などの非営利組織が行う婚活事業への支援を行っている。また、県が新たに組織するやまがた出会いサポートセンターに参画し、結婚支援の一層の充実と強化に取り組んでいく。

## お知らせ

# やまがた市議会報が 新しくなりました！

議会報委員が協議と試行錯誤を重ね、議会報をリニューアルしました。

この議会報が、県都山形市の未来へ歩むための「みちしるべ」となるよう、33人の議員による真摯な議論を、市民の皆さまにわかりやすくお伝えしていきます。

これからも、読みやすく、親しみと関心を持っていただける議会報を目指していきます。

- ・愛称は「みちしるべ」
- ・コンセプトを表現したタイトルデザイン
- ・全ページカラー化
- ・より見やすく、わかりやすく
- ・より親しみやすく



## ◆タイトルデザインが決定！

昨年決定した愛称「みちしるべ」のデザインを東北芸術工科大学デザイン工学部に募集した結果、古里凌哉さんふるさとりのやから応募いただいたデザインに決定しました。

### ●デザインの説明

目の前に広がる道と、曲がりくねった道が文字を描いているようなイメージ。



東北芸術工科大学4年  
古里凌哉さんより一言

ロゴタイトルは公共性が高く、多くの人の目に触れるため、たくさん気を使いながらデザインしました。

## 市政トピックス 活力あるまちへ ~都市計画マスタープランの見直し~

平成10年に策定した山形市都市計画マスタープランは策定から15年以上が経過しており、人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応した新たなまちづくりを行う必要があることから、計画の見直しが行われます。3月定例会では、全員協議会と環境建設委員会で、都市計画マスタープランの原案が報告されました。

現在パブリックコメントを実施しており、6月定例会での報告後、9月頃に全体構想の公表が予定されています。



### 見直しのポイント

- ① まちの賑わいや活力を創出するまちづくり
- ② 現在の都市構造を基本とした集約型のまちづくり
- ③ 拠点形成による誰もが暮らしやすいまちづくり

2年間近くかけて議論してリニューアルした新しい市議会報「みちしるべ」がデビュー。「手に取って見てももらえるもの、興味を持ってもらえるものに。」と委員会で時間をかけて議論し、タイトル公募やデザイン、レイアウトなど委員会メンバーが全力で取り組んできたものです。

議会では議会報告会、質問形式の選択制など改革を進めてきましたが、今後も改選を経た33人の議員が市民の声を反映し、真摯に議論した内容を本紙にて皆さまにお届けしてまいります。

議会報委員長 武田 聡  
副委員長 伊藤 香織  
委員 阿曾 隆  
委員 伊藤 美代子  
委員 伊藤 美代子



▲左から阿曾、伊藤(香)、武田、伊藤(美)委員